



縄文に創造の原点をたずね、青森の大地(EARTH)に根ざした新たなアート(ART)を探求する美術館の企画シリーズ「青森EARTH」。今年は「根と路」と題して、三内丸山遺跡の縄文遺物、郷土の探検家・政治家の笹森儀助(1845-1915)の軌跡、現代アーティストの作品を通じて「存在と場所」の関係に迫る展覧会を開催する。

人は大地に「根」を張り生き、旅という「路」を行く。人の営みに大地の振動を重ねてみる。人と大地の共振の夢想に現れるのは両者の間を流れる精霊の姿である。

大地を抱き、大地に抱かれながらみる夢の中で私たちは気づくだろう。世界とは人と大地と精霊の交わりからなる「根と路」から生まれる無数の中心そのもの。世界の「根と路」を見出すことで私たちはどこにでも存在できること。そして自らの内に、万物と共に存し得る未踏の大地を宿していることを。

人と大地の「旅と土着」をめぐる想像力をもとに「存在と場所」の関係を問う本展は、生と死、夢と現実、記憶と歴史を結び直し、あらゆる他者と存在し続けるための術の可能性を提示する。本展をもって美術館は精霊の棲む洞窟や小屋、「大切なものを貯め置く場所—jakka duxuni(\*ウイルタ語)」となるだろう。

青森県立美術館10周年記念  
青森EARTH 2016

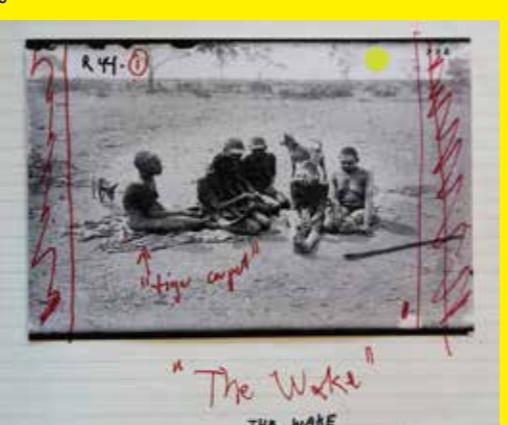
# 根 & 路

The Aomori Earth series traces the origins of creation to the Jomon Period while searching for new artists based in the Aomori region. In this year's exhibition, we explore the relationship between being and place as seen in the vestiges of Jomon culture in the Sannai-Maruyama Ruins, the life of local explorer and politician Sasamori Gisuke (1845-1915), and the work of contemporary artists.

We set off on travel routes and put down roots in the earth. Our activities overlap with the earth's vibrations. What emerges from this dream is a flowing spirit to connect people and the earth.

As we embrace and are embraced by the earth in this dream, we begin to understand. The world consists of countless centers borne out of the roots and routes that intersect between people, the earth, and the spirit. By uncovering these roots and routes, we can go and live anywhere in the world. Within ourselves there is a no man's land where all things have the ability to coexist.

This exhibition examines being and place based on imagination and in relation to people, and traveling and settling the earth. It posits a wide range of possibilities for reconnecting life and death, dreams and reality, and memories and history in order to continue living with all kinds of other people. The museum promises to be transformed into a jakka duxuni (an Orok term meaning "treasure house")—or a cave inhabited by spirits, a hut, or a place where people store valuable items.



## 関連企画 EVENTS

各イベント詳細は美術館ウェブサイトをご参照下さい。

### [1-1] アートツアー

「ジャッカ・ドフニの舟、あるいは記憶の海路—T.K.への手紙」

### [1-2] 講演会

「半島、孤島、群島—根と路の交差点で」(仮題)

— 移動の物語を生き続ける人類、青森の土地の記憶を参加者で共有するイベントを行います。

— アートツアー 8月13日(土) 10:00-17:00 (予定)

出演 | 今福龍太 (文化人類学者、批評家), 中村達哉 (ダンサー) 他

会場 | 県内各所 \*バスツアーの形式による回遊型パフォーマンス公演です。

講演会 8月14日(日) 13:00-15:00

出演 | 今福龍太 他 会場 | 青森県立美術館スタジオ

両者ともに参加無料

\*アートツアーへの参加を希望される方は美術館に電話でお申込み下さい。

先着順で応募を受け付けます(定員20名)。

集合場所、時間等詳細は別途ご連絡します。

\*両日の参加を推奨しますが、どちらか一方の参加も可能です。

なお「講演会」のみの参加の場合は申込不要です。

### [2] アピチャッポン・ウィーラセタクン監督 映画上映会

— 展覧会出品作家アピチャッポン・ウィーラセタクン氏(映画監督・アーティスト)による代表作「ブンミおじさんの森」、最新作「光りの墓」、短編フィルム作品などを日替わりで上映します。

日時 | 9月3日(土), 4日(日) 各日10:00-16:00

会場 | 青森県立美術館シアター

参加無料・申込不要

### [3] 担当学芸員によるギャラリートーク

日時 | 7月31日, 8月21日, 9月25日 全て日曜日 14:00-14:45

集合 | 青森県立美術館エントランスギャラリー周辺(1階)

料金無料・事前申込不要

\*当日の展覧会チケットが必要です。

展覧会会期に連動して館内外で

「青森EARTHアウトリーチ 立ち上がる風景

—new documentary for 'atopic site'も展開中。

—あわせてご覧ください。

展覧会会期中、青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会主催によるコンサートが開催されます。詳細は下記までお問合せ下さい。

5台ピアノコンサート 北十字星からの贈りもの

日時 | 7月22日・23日 各日開演19:00 (開場18:30)

主催・問合せ | 青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会事務局 Tel 017 783 5243 Fax 017 783 5244

## 観覧料

一般 1,500(1,300)円

高校・大学生 1,000(800)円

小・中学生は観覧無料!

\*()内は前売および20名以上の団体料金

\*心身に障がいのある方と付添者1名は無料

\*小・中・特別支援学校の引率者が、学校教育活動として観覧する場合は無料。

\*常設展観覧料は含まれません。

前売券販売所

ローソンチケット、セブンチケット、

まるっとあおもり検索サイト「ボミット!」、

県内各プレイヤー

\*前売り券は7月22日まで販売

## Admission:

General 1,500yen (1,300 yen),

High school and University student 1,000 yen (800 yen)

\* Junior high / elementary school student and younger is free,

\* () - Advance / Group discount for groups of 20 people or more.

\* Personal attendants of individuals with disabilities are admitted free of charge. Limit of one attendant per individual.

\* Does not include admission to permanent collection

## Advance Ticket Sales:

Advance Tickets may be purchased at

all major ticket vending vendors in Aomori prefecture or through Lawson Ticket or, Seven Ticket etc.

1 アピチャッポン・ウィーラセタクン《FAITH》2006  
映像インсталレーション | 作家蔵 | 協力: Kick the Machine Films

2 清水裕介《世界の根っこにある大事な唄》2015  
箱根の土4種(箱根神社、東光庵、芦之湯、彫刻の森美術館), 様々な土地の土、アクリル、ベンキ、糊、木製パネル | 高松市美術館蔵 | 撮影: 田口まさみ  
©Yusuke Asai, Courtesy of ARATANJURAN, The Hakone Open-Air Museum

3 エドワード S. カーティス《タブリックのダンスを踊る女性 サン・イルデフォンソ族》1905 (Print 1988) | P.P | 清里フォトアートミュージアム蔵 | 画像提供: 清里フォトアートミュージアム

4 平田五郎《Inside Passage~月を盗んだタリガラス》2005, 2007 | Pro Crystal Print | 作家蔵 |

5 石川直樹《ARCHIPELAGO》2009  
タイプCプリント | 撮影地: 鹿児島トカラ列島・悪石島

6 ヨナス・デ・アンドラーデ《Pacifico》2010  
発泡スチロールの模型、板、地図、紙等を用いたアニメーション | 作家蔵 | 字幕制作: 広島市現代美術館

7 三瀬夏之介《日本の絵—執拗低音—》2015  
金沢21世紀美術館蔵 | 撮影: 木奥恵三 | 画像提供: 金沢21世紀美術館

8 奈良美智《三内丸山2号(黒いミミズク)》2016  
土 | 作家蔵 | 撮影: 奈良美智

9 スザン・ヒラー《Midnight Liverpool Street》1984 | 共色現象方式印画 | 東京都写真美術館蔵 | 画像提供: 東京都写真美術館

10 クリストチャン・ヴィヴィアン《Epitaph 1 detail, from the series The wake, 2014-2016》2016 | 作家蔵

\*実際の出展作品は画像と異なる場合がございます。